

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
保育内容・造形表現Ⅱ	演習	1	小林 伸雄 ・ 佐藤 有紀
【授業のテーマ及び到達目標】 様々な素材を用いた造形活動を通して、その素材の特質に触れ、経験を持つことを目標とする。身近な素材を用いた作品の制作を通して保育の造形指導に必要な基礎知識や技能を身に付ける。			
【授業の概要】 実習形式で行う。また造形活動の指導案作成・実践も行う			
【全体の授業計画・内容】			
1. ガイダンス			
2. 造形活動① スポンジ人形製作(アイデアスケッチ・素材研究)			
3. 造形活動① スポンジ人形製作(形成)			
4. 造形活動① スポンジ人形製作(着色)			
5. 造形活動① スポンジ人形製作(組立て)			
6. 造形活動の指導案と実践① 季節のあそび			
7. 造形活動の指導案と実践② 素材のあそび			
8. 造形活動の指導案と実践③ 描画あそび			
9. 造形活動の指導案と実践④ 粘土あそび			
10. 造形活動② 似顔絵(人物観察 ・ 描画する)			
11. 造形活動② 似顔絵(描画仕上げ ・ 鑑賞)			
12. 造形活動③ 廃材を使って(厚紙による形状の立体化)			
13. 造形活動③ 廃材を使って(新聞紙による肉付け)			
14. 造形活動③ 廃材を使って(仕上げ)			
15. まとめ・鑑賞			
【準備学習の内容】			
予習のあり方： 授業で用いる用具、素材の事前準備			
学習のあり方： 積極的に造形、制作活動を行い、創意工夫を試みる。			
復習のあり方： 授業で体験した制作活動を振り返り、保育・教育での生かし方を考察する。			
【成績評価】			
提出物(70%) 授業態度 (30%)			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
作品に対しての寸評によるアドバイスをを行う。			
【テキスト】 作成したテキストを授業時に配布する。			
【参考文献】 授業時に紹介する。			